

2015年10月作成 4 版

貯法 密閉容器

承認指令書番号	農林水産省指令 2 7 動薬第 1 1 7 1 号
販売開始	1 9 9 8 年 9 月

動物用医薬品

リンコマイシン系抗菌薬
要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

NET 20kg

リンコマイシン散44「フジタ」

一般的名称：リンコマイシン塩酸塩準散



リンコマイシンはリンコマイシン系抗生物質に分類され、細菌のリボソームに結合して蛋白合成を阻害し、
静菌的な抗菌作用を示します。リンコマイシンはブドウ球菌、連鎖球菌などのグラム陽性菌やグラム陰性菌
に対して抗菌作用を示し、中でも嫌気性菌に対しては特に強い効果を示します。

〔成分及び分量〕

本剤 1kg 中
リンコマイシン塩酸塩水和物・・・・・・・・44g(力価)

〔効能又は効果〕

有効菌種 マイコプラズマ・ハイオニューモニエ、
マイコプラズマ・ハイオライニス、
クロストリジウム・パーフリンゲンス
本剤感受性のブラキスピラ・ハイオディセンテリー

適応症

豚：豚マイコプラズマ性肺炎、豚赤痢
鶏：壊死性腸炎

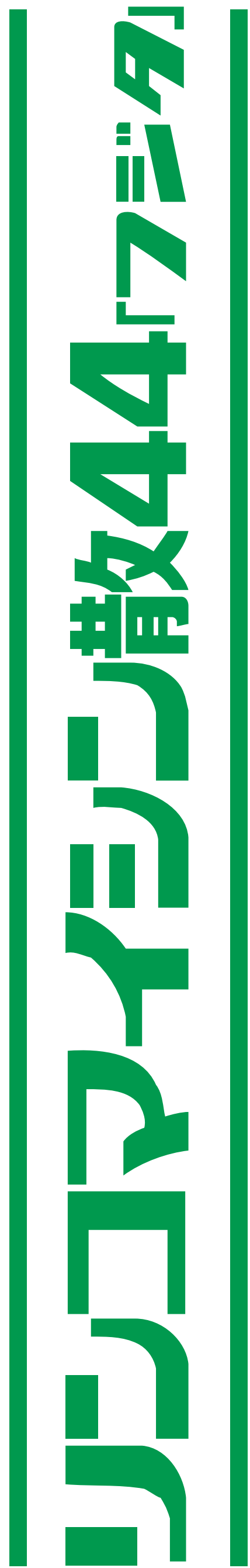
製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都品川区上大崎 2 丁目 13 番 2 号

<http://www.fujita-pharm.co.jp>



〔用法及び用量〕

飼料 1t 当たり、リンコマイシンとして下記の量を均一に混じて経口投与する。
豚：飼料 1t 当たり 44～110g(力価)の量を混じて 5～10 日間経口投与する。
鶏（産卵鶏を除く。）：飼料 1t 当たり 44g(力価)の量を混じて 7 日間経口投与する。

使用上の注意
(基本的事項)

- 守らなければならないこと
(一般的注意)
 - 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
 - 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
 - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であつてもそれを反復する投与は避けること。
 - 本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
 - 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 83 条の 4 の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物〔豚・鶏（産卵鶏を除く。）〕について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚：食用に供するためにと殺する前 4 日間
鶏（産卵鶏を除く。）：食用に供するためにと殺する前 3 日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- 本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
- 開封後はできるだけ速やかに使い切ること。
- 本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので最終有効年月を過ぎた製品は使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 使い残しの保管は袋の口をしっかりと閉め、湿気に注意して保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤が誤って使用者等の眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないよう注意すること。
- 作業時には、長袖の作業着、作業帽、防護メガネ、マスク、手袋等の防具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。
- 本剤を使用した後あるいは皮膚に付着したときは石けん等でよく洗い、水で十分うがいをする。

(豚及び鶏に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

- 重要な基本的注意
 - 本剤は、大腸菌に対して抗菌力を持たないことから、大腸菌のおそれがある場合には、別途、適切な薬剤を使用すること。
- 副作用
 - 本剤の投与により、豚においてまれに一時的な軟便が見られるとの報告がある。

注意－獣医師等の処方箋・指示により使用すること
注意－使用基準の定めるところにより使用すること

〔有効期間〕
36 カ月

〔製品情報お問い合わせ先〕

フジタ製薬株式会社
〒193-0942 東京都八王子市栢田町1211
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記〔製品情報お問い合わせ先〕に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。



水ぬれ注意



手かぎ無用



外 袋



内袋：PE

15R4

